

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			2・東書	第5, 6学年	家庭 501
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A 家族・家庭生活」については、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くよう、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、団らんを持つ計画を立てたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々と心のつながりを深めるために工夫できることを考えたりする活動</li> <li>・「B 衣食住の生活」については、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「マイ・ミニバッグ」や「エプロン」を製作したりする活動や、第6学年において家族が喜ぶ一食分の献立を考えたり、「トートバッグ」を製作したりする活動</li> <li>・「C 消費生活・環境」については、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において目的に合った選び方や買い方を考えたり、環境や資源に配慮した生活を工夫したりする活動や、第6学年において目的や品質を考えた適切な買い方を考える活動</li> </ul> <p>○ 「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために小物入れを作ったり、年末そうじの計画を立てたりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「ひと針に心をこめて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、手ぬいで学習したことを生かして生活をよりよくする様々な方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、児童が達成感や実践する喜びを味わうことができるよう学習内容を 27 の大題材（45 の小題材）で構成し、「自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう」や「手ぬいのよさを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1 食分の献立を立てて、調理しよう」や「計画を立てて、工夫して作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「A 家族・家庭生活」は 28 ページ、「B 衣食住の生活」は 79 ページ、「C 消費生活・環境」は 8 ページ、「A 家族・家庭生活及び B 衣食住の生活」は 5 ページ、「B 衣食住の生活及び C 消費生活・環境」は 9 ページあり、「その他」はなく、総ページ数は 145 ページで、前回より約 12% 増となっている。（判型は A 4 判）</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 「環境」「日本の伝統」「日々の備え」などのマークや「資料」「プロに聞く！」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、ワークシートを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「いつも確かめよう」として写真や挿絵でまとめて掲載し、必要に応じて調べさせたり、「生活を変えるチャンス！」を示すことで、児童の生活の中から課題を見付けられるよう促し、家庭学習へとつなげたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習の流れ」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
		<p>○ 地域素材については、「B 衣食住の生活」において、北海道の郷土料理として石狩鍋の例が掲載されている。また、寒い地域の住まいを考える例として、札幌市の</p>			

<p>指導上の 配慮等</p>	<p>月別気温が掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTの活用については、デジタルコンテンツが使用可能であり、各ページのQRコードから必要な動画等を検索し閲覧が可能となっている。</li> <li>○ 小・中連携については、「これからの生活に向けて、よりよい生活を送るためにどのような工夫をしていきたいか」として、学習のまとめが掲載されており、中学校への接続に関して配慮がなされている。</li> </ul>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭生活への関心・意欲・態度の育成ができるよう、家族構成に関連する写真等の掲載や、生活の課題と実践に関する例示など、家庭生活での実践を促す配慮がなされている。また、デジタルコンテンツの活用や実物大写真の掲載により、視覚的にも分かりやすく、学習への興味関心を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 問題意識をもって生活を見つめ、自ら課題を見つけることができる力を育成することができるよう、生活との関連性を見だしやすく、課題意識を高め実践を促す配慮がなされているとともに、イラストやキャラクターの吹き出しを使って、押さえるべきポイントを強調している。また、資料として活用できる写真やインタビュー、コラムを掲載している。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭科に関係のある英単語とその日本語訳を脚注に掲載するなど、外国語科と関連付ける配慮がなされている。</li> </ul>

観 点	番 号	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	使 用 学 年 ・ 分 野	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	教 科 書 名
取 扱 内 容  学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 の 目 標 、 内 容 等		9・開隆堂	第5, 6学年	家庭 502	わたしたちの家庭科5・6
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等					<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」については、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くよう、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、家族の一員として仕事の仕方を考えたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々との関わりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりする活動</li> <li>・「B衣食住の生活」については、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「カード入れ」や「ランチョンマット」を製作したりする活動や、第6学年において栄養のバランスのよい一食分の献立を考えたり、「マイバッグ」を製作したりする活動</li> <li>・「C消費生活・環境」については、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において計画的な買い物の仕方を考えたり、目的に合った物の選び方や買い方を工夫したりする活動や、第6学年において環境に配慮した生活について考える活動</li> </ul> <p>○ 「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだし課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために昼食を作ったり、布を使ってプレゼントを製作したりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「ソーイングはじめの一步」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、手ぬいの知識や技能を自分の生活への工夫に生かす様々な方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
使 用 上 の  配 慮 等					<p>○ 「環境」「消費」「防災」などのマークや「参考」「学習内容に関する人」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、チェックリストを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 生活の様々な場面を想起することができる写真や挿絵を掲載し、必要に応じて調べさせたり、「チャレンジコーナー」を示すことで、児童の生活の中から課題を見付けられるよう促し、家庭学習へとつなげたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習のめあて」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
					<p>○ 地域素材については、「B衣食住の生活」において、北海道の郷土料理として、ちゃんちゃん焼き、北海道の昆布、味噌汁の具材としてジャガイモ、おやつ例と</p>

<p>指導上の 配慮等</p>	<p>して、いももちが掲載されている。また、寒い地域の住まいを考える例として、札幌市の月別気温が掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTの活用については、デジタルコンテンツが使用可能であり、各ページのQRコードから直接閲覧が可能となっている。</li> <li>○ 小・中連携については、「2年間の学習を振り返って、中学校の学習に生かそう」として、学習のまとめが掲載されており、中学校への接続に関して配慮がなされている。</li> </ul>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭生活への関心・意欲・態度の育成ができるよう、家族構成に関連する写真等の掲載や生活の課題と実践に関する例示など、家庭生活での実践を促す配慮がなされている。また、QRコードを随所に配置し、視覚的にも分かりやすく、学習への興味関心を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 問題意識をもって生活を見つめ、自ら課題を見つけることができる力を育成することができるよう、生活との関連性を見だしやすく、課題意識を高め実践を促す配慮がなされているとともに、キャラクターの吹き出しを使って、押さえるべきポイントを強調している。また、資料として活用できる写真やインタビュー、コラムを掲載している。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活の中のプログラミングに関するコラムや、家庭科に関わる英単語の一覧を掲載するなど、小学校プログラミング教育や外国語科の学習と関連付ける配慮がなされている。</li> </ul>